

**腎機能低下症例に対する造影 CT 検査実施のため、
当院に入院・通院された患者さんの情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。匿名化が図られ個人は特定されず、また過去の診療記録情報の収集と解析にとどまるため、対象者には直接の不利益はありません。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象患者さんのお一人お一人からの直接のご同意に代えて、研究内容の情報を公開することをもって実施可能とされております。

この研究に関するお問い合わせ、ならびに、この研究内容の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題名】

造影 CT 検査における腎機能低下症例に対する低電圧を用いた造影剤低減撮影

【研究部署】 神戸朝日病院 放射線科 CT 室

【研究責任者】 小林 久人（放射線科部長）

【研究の目的】

当院におけるヨード造影剤による造影剤腎症の対策の一環として、本研究を行っている。腎機能が低下している場合、造影剤が腎臓から尿として体外へ排出されず、体内に蓄積するため、造影剤に起因する腎障害（造影剤腎症）を起こすリスクが問題視されている。ヨード系造影剤における造影剤腎症に関しては、各国から報告されるガイドラインにおいて明確な基準はないものの、造影剤の使用量に比例する報告が多くあり、可能な限り造影剤を減らすよう記載されている。現在の日常診療にて、ヨード系造影剤を用いた造影検査は、血管や臓器の疾患における形態的变化を明らかにし、多くの疾患において重要な検査の1つとなっている。CT 検査で用いられる造影剤は主に静脈内に投与し、検査を行うが、機器及び再構成方法の進歩により、従来の造影剤量より大幅な低減が報告されている。腎機能低下症例におけるヨード系造影剤を使用した CT 検査において、ガイドライン記載の可能な限り造影剤量低減を遵守するため、eGFR45 未満の患者を対象に希釈投与による低管電圧を用いて造影剤低減撮影を行い、診断に必要な造影効果及び画像ノイズの影響について検討を行う事が、本研究の目的である。

【研究方法】

対象となる患者は下記の通りである。

- ・過去当院にて造影 CT 検査を撮影した者
- ・90 日以内に採取した eGFR 値が 45 未満の腎機能低下症例

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接と特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）は除外してほしい」と望まれる方は下記お問合せ先までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

神戸朝日病院 放射線科 CT 室

放射線科 鳥川あきほ

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町 3-5-25

TEL:078-612-5151